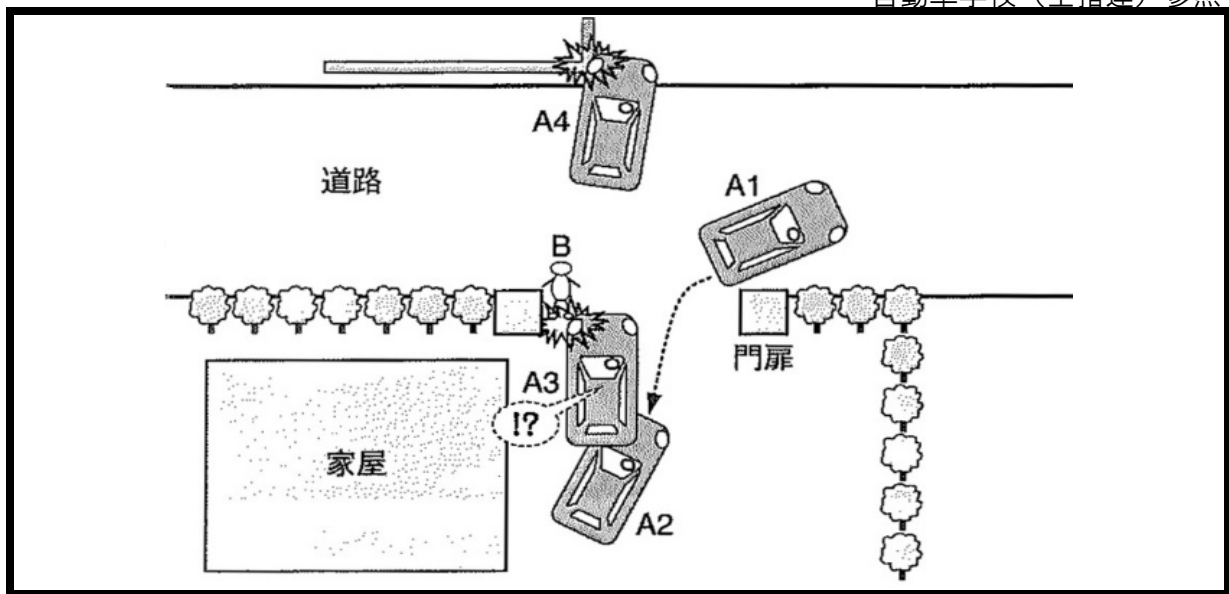


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：人対車両

発生日時：4月 午前10時30分頃 晴れ

当事者A：軽乗用車 80歳代 男性

当事者B：歩行者 80歳代 女性

■ 事故の概要

Aは車で買物から帰宅し、自宅の前で車からBを降ろし、バックで車庫に駐車しようとしていました。一度のバックでは車が真っ直ぐに入らなかったため、切り返すためにギアを前進に入れ少し前進しました。門扉ギリギリまで進んで停止しようとブレーキを踏んだところ、誤ってアクセルペダルを踏んでしまい、車の前で門扉を閉めようとしていたBを跳ねてしまいました。ブレーキペダルを何とか踏みなおしましたが、道路を横切ってブロック塀に衝突して止まりました。

事故後、Aは「この車は1ヶ月前に納車されたばかりでしたが、今までにも同じような車には3台乗り続けており、不慣れということはありませんでした。運転歴は30年以上で運転には自信があります。これからも車の運転は続けていきたい。」と言っていました。

■ 事故から学ぶ

乗り慣れない車であったことが影響しているのは間違いないと思われます。運転操作に対する車の反応は、車が変われば微妙に異なります。微妙な差であっても車庫のような狭いスペースで運転する時は大きな差として感じられる場合があります。今回の事例のように、直ぐ近くに人がいるような場合は、より慎重な運転が求められます。

たとえ、十分に慣れた車であっても、車庫入れなど狭い場所では慎重な運転を心がける必要があります。